

## 貸 借 対 照 表

(株)アルファパーチェス

平成27年12月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流 動 資 産</b>	8,504,530	<b>流 動 負 債</b>	7,705,870
現金及び預金	1,038,256	買掛金	6,992,033
受取手形	568	一年内返済予定の長期借入金	304,320
電子記録債権	323,109	リース債務	13,049
売掛金	6,596,877	未払金	136,268
商 品	229,228	未払費用	59,514
未成工事支出金	94,056	未払法人税等	99,821
貯 蔵 品	3,136	未払消費税等	82,895
前払費用	77,123	預り金	16,149
未収入金	13,117	その他	1,821
関係会社短期貸付金	70,000	<b>固 定 負 債</b>	1,032,378
繰延税金資産	19,815	長期借入金	975,755
その他	39,945	長期リース債務	22,850
貸倒引当金	△ 700	金利スワップ	6,004
<b>固 定 資 産</b>	1,105,094	資産除去債務	27,769
<b>有形固定資産</b>	( 100,561 )	<b>負 債 合 計</b>	8,738,248
建物	29,454	<b>(純資産の部)</b>	
工具器具備品	35,798	<b>株 主 資 本</b>	874,561
リース資産	35,309	<b>資 本 金</b>	50,000
<b>無形固定資産</b>	( 607,121 )	<b>資 本 剰 余 金</b>	198,908
ソフトウェア	512,722	その他資本剰余金	198,908
ソフトウェア仮勘定	94,399	<b>利 益 剰 余 金</b>	625,653
<b>投資その他の資産</b>	( 397,412 )	その他利益剰余金	625,653
関係会社株式	175,974	繰越利益剰余金	625,653
差入保証金	220,634	<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	△ 3,881
長期繰延税金資産	804	繰延ヘッジ損益	△ 3,881
		<b>新 株 予 約 権</b>	696
		<b>純 資 産 合 計</b>	871,376
<b>資 産 合 計</b>	9,609,624	<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b>	9,609,624

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法  
     子会社株式                      移動平均法による原価法
- (2) デリバティブ等の評価基準及び評価方法  
     デリバティブ                    時価法
- (3) たな卸資産の評価基準及び評価方法  
     商品                              移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)  
     未成工事支出金                  個別法による原価法  
     貯蔵品                           個別法による原価法
- (4) 固定資産の減価償却の方法  
     有形固定資産                   定率法  
     (リース資産を除く)  
     無形固定資産                   定額法。なお、自社利用ソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年以内)に基づく定額法を採用しております。  
     リース資産                      所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。
- (5) 引当金の計上基準  
     貸倒引当金                      売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
- (6) ヘッジ会計の処理  
     ヘッジ会計の処理              原則として繰延ヘッジ処理によっております。なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては特例処理によっております。
- (7) 外貨建の資産または負債の本邦通貨への換算の基準  
     外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
- (8) 請負工事に係る収益及び費用の計上基準  
     当事業年度末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約については工事進行基準を適用し、その他の工事契約については、工事完成基準を適用しております。なお、工事進行基準を適用する工事の当事業年度末における進捗度の見積りは、原価比例法によっております。
- (9) 消費税等の会計処理  
     税抜方式によっております。

### 2. 貸借対照表に関する注記

- |                                  |            |
|----------------------------------|------------|
| (1) 有形固定資産の減価償却累計額               | 91,779 千円  |
| (2) 関係会社に対する金銭債権債務               |            |
| 短期金銭債権                           | 958,082 千円 |
| 短期金銭債務                           | 163,559 千円 |
| (3) 電子記録債権の割引高                   | 160,208 千円 |
| (4) 保証債務                         |            |
| 他の会社の金融機関等からの借入債務に対し、保証を行っております。 |            |
| 愛抜愷斯(上海)貿易有限公司                   | 11,164 千円  |

3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、未払事業税、未払賞与、資産除去債務、関係会社株式評価損及び評価性引当額であります。また、繰延税金負債の発生の主な原因は資産除去債務であります。

4. 関連当事者との取引に関する注記

親会社

属性	会社等の名称	議決権等の(被所有)所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	アスクール(株)	(被所有)直接 87.44%	役員の兼任	売上 仕入	7,183,085 1,118,903	売掛金 買掛金	881,827 136,134

(注) 1. 市場価格を参考に交渉の上決定しております。

2. 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には含まれております。

5. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額 54,808円02銭  
(2) 1株当たり当期純損失 △15,161円35銭

6. 重要な後発事象に関する注記

該当なし

7. その他の注記

記載金額は千円未満を四捨五入して表示しております。

8. 当期純損失額 ▲240,853千円

上記純損失額には、関係会社株式評価損▲493,942千円が含まれています。